

まちの応援マガジン いなわしる

広報 猪苗代

May.2011

5

No.607

特集

私たちに
できること

浪江町から民宿えびすやに避難している齋藤^{わたせ}僣さん(浪江町大堀地区出身 69歳)。種まきや水やりなどの農作業を自主的に手伝っている。「農業の経験を生かして、お世話になっているえびすやさんのお手伝いできれば」と笑顔を見せる。避難生活を送る人の中に、体を動かしたいと話す人は多い。今後はこうした機会を増やす支援も必要だ。

Proud!

毎日や大震災の復興を支援しよう

Japan

私たちにできること

東日本大震災の後、私たちが襲った福島第一原発事故。放射性物質という見えない脅威に、私たち町民はどう対処すればいいのか。古里に戻れず、苦しんでいる被災者に、何ができるのか。受け入れなどの直接的な支援から、経済活性化など間接的支援まで、さまざまな角度からアプローチし、あらゆる手を打つことが重要だ。想定外の災害には、規格外の復興政策を――。放射性物質や風評被害など、見えない敵に打ち勝つためには既成概念を打破する新しい発想が不可欠だ。



01 ライオンズクラブの支援対策本部。「震災直後、燃料や食料が中心だった支援物資は、生活用品などに変わってきている。被災者のニーズに合わせた支援が必要」と大川原勝人キャビネット幹事は話した。
02 避難所に設けられた臨時の教室は、先生たちが職業を生かした支援だった。
03 避難所前で雑煮ときなこもちの炊き出しをした猪苗代湖の自然を守る会のメンバーら。

一人一人に できること

自分の身は 自分で守る

福島第一原発の事故発生から2カ月が経過し、放射性物質についてもさまざまな測定結果や情報が発表されるようになった。国際放射線防護委員会（ICRP）によれば、1年間に浴び

- ・ため、なるべく当たらない
- ・外出から帰ったら服のほこりを落とすように払う。
- ・うがい、手洗いを徹底する
- ・暫定規制値以上の食物や水などは口にしない

人の数だけ 支援のカタチ

町の避難所が閉所して、被災者は民宿、旅館やホテルなどの二次避難所に移った。しかし、避難生活が続いていることには変わりがない。これからも継続した支援が必要だ。

本町には、被災者の力になりたいと思っている人がたくさんいる。4月15日に町の避難所が閉鎖されるまでの間、ボランティア登録をした町民は500人を超えていた。炊き出し、物資の運搬やキッズルームなど、避難所の運営にはボランティアの協力が欠かせなかった。

避難所がなくなっても、一人一人にできる支援がある。歌がうまい人、民話の語りが得意な人や腹話術ができる人は、その特技で避難者の心をなごますことができる。

医師、看護師や保健師が、健康相談や心のケアに力を発揮するように、自分の職業を生かした支援という方法もある。

でも問題のない放射線量は、平常時は1μSv（シーベルト、以下Sv）未満、緊急時には20（100μSv）未満となっており、日本の法律もそれにならっている。しかし、原子力安全委員会は子どもは10μSvまでが上限、文部科学省は20μSvが上限とするなど、各機関によって数字がまちまちになってしまっている。これでは国民が不安になるのも無理はない。

本町の環境放射能測定値は、現在も約0.2マイクログロシーベルト/毎時（以下μSv/h）付近で推移しており、1年間に換算すると、約1μSv（約1000μSv）。一番低い基準に近い数値だが、放射性物質や放射線が累積するものである以上、余分な放射線を浴びないに越したことはない。

町民の皆さんの不安を少しでも取り除くため、一般的に言われている、私たち一人一人にできる防御策を列記しておくので参考にしてもらいたい。

- ・放射性物質を吸い込むのを防ぐため、マスクやぬれたタオルなどで口や鼻をふさぐ。
- ・肌はなるべく露出しない。
- ・帽子をかぶる。
- ・不要な外出は避ける
- ・雨は濃度が高まる恐れがある

ライオンズクラブ国際協会332-D地区（山口一男ガバナ）は、震災直後から会員一人一人が力を合わせて支援活動に取り組んだ。その組織力を生かした支援は、県内中の被災者を支えた。

現在、同会では役場駐車場の一角に支援対策本部を設置し、全国のライオンズクラブからの支援物資を管理、町内のみならず県内各地への支援活動を続けている。町内に避難している人たちも、直接ここを訪れ、必要な支援物資を受け取っている。

浪江町から避難しているという女性は「お父さんの靴が古くなっていましたが、今日は新しい靴がもらえてうれし」と話し、笑顔で駐車場を後にした。

全国組織のライオンズクラブなどには、大型の支援ができる力がある。逆に、被災者一人一人の細かい要望にこたえられたのは、町民一人一人が考えた支援であった場合もある。

100人いれば、100通りの支援がある。必ずしもお金をかける必要はない。短時間でもいい。大切なのは、無理のない支援をずっと継続していくこと。自分が無理をしない支援は何か、被災者のために何ができるのかをじっくりと考えて行動することが必要だ。

町や県に できること

国や東京電力との折衝などは、県や市町村の重要な役割だ。被災市町村の行政機能を平常化させる支援や被災者の受け入れには、県と町が協力して取り組まなければならない。

県や被災市町村による二次避難所の配宿が進み、町内の民宿、旅館やホテルなどには、4月24日現在で約2500人の被災者が滞在している。本町に多くの町民が避難している浪江町と双葉町では、町に数人の職員を駐留させて連絡所を開設。それぞれ住民への情報提供や各種申請の受け付けなどの事務を開始した。

被災者の 心の復興を

古里を離れ、不自由な避難生活を続ける被災者は、さまざまなストレスを抱えている。その原因の一つは、避難所に閉じこもりがちになってしまうこと。しかし、それを解消するヒントを示した自治会があった。民宿えびすや(渡部新司代表取締役)では、浪江町から避難した約20人が避難生活を送って

いる。避難前に自宅で農業を営んでいた人が、渡部さん宅の農作業の手伝いを始めたことから活動がスタート。現在は農作業だけでなく、施設内の掃除なども進んで協力しているという。

「自分たちも地元で農業をしていたので、お世話になっているえびすやさんを少しでもお手伝いしたいと思った」と話すのは同自治会の齋藤優さん。こうした取り組みは、運動と気分転換を兼ねた心のケアにもつながるとして、テレビなどでも紹介された。

避難生活を続ける人の中には、もともと体を動かしたい、生きがいを感じたいと思っている人がたくさんいる。直接的な作業だけでは足りない、サークル活動や習い事でも生きがいは感じられる。そうした「心の復興」につながる部分の支援は、重要な課題として取り組むべきだ。

震災と原発事故は、雇用にも大きな影響を与えた。震災以前から問題となっていた職不足に加え、被災して会社や職がなくなってしまう被災者も多い。県と浜通り13市町村は、国の緊急雇用創出事業を活用し、被災者を雇用する案を発表した。被災者は住民票のある市町村以外の自治体への勤務も可能となり、町でも協力を検討中だ。

国や東電に できること

国と東京電力に求められているのは、一刻も早い事故の収束と被災者への十分な補償だ。事故処理や賠償の責任がある東京電力はもちろんだが、国策として原発の設置を推進してきたのは国であることも事実。総力を挙げて福島を復興する覚悟が求められている。

世界の英知を 結集して

レベル7という深刻な原発事故に世界中が注目している。す



Interview

民宿えびすや
自治会長

木場 尚子なほこ
(浪江町)

数カ所の避難所を移動して、えびすやさんに来ました。体育館では寒さ、喪失感や帰りたいという気持ちと戦っていたので、ここにきて、ほっとしました。ご飯もおいしいし、安心して生活を送っています。

雇用に関する不安を和らげ、少しでも安心して避難生活を送れるようにすることも、心の復興の一つだろう。

猪苗代を 支援拠点に

本町は福島県の中心に位置し、高速道路のインターチェンジを備えるなど、比較的に他県からのアクセスがいい。また、浜通

りにアメリカやフランスなどからの協力を得ているが、世界中の英知を結集して事故の処理に当たることが必要だ。

世界が注視する中で、最先端の技術を駆使して事故を収束させることができれば、そのノウハウは福島を世界最先端の防災都市に生まれ変わらせることも不可能ではない。

金銭と制度 両輪で補償を

今回の原発事故による東京電力の損害賠償額は、最大で約10兆円に上るといふ試算もある(バンクオブアメリカ・メリルリンチの投資家向けレポートよ

私は浪江町で農業をしていたので、えびすやさんのハウスのビニール張りや種まきを手伝った時に、生きがいを感じました。心が晴れるというか、すごく気分がよかったです。一緒に手伝った皆さんも、きつと同じことを思っただけです。じつとしてみると、体がなまってしまいます。近所の散歩だけでは、運動不足は否めません。同じく避難している皆さんにも、体を動かしたいと考えている人はたくさんいます。今後、そうした場所が増えてくれれば、避難している人たちの間にも笑顔が増えると思います。

りからの被災者を受け入れている会津地方の玄関口でもある。宿泊施設の規模を考えれば、今後さらに被災者の受け入れが増加しても、そのほかの団体を受け入れることも十分可能だ。二次避難所としての役割を終えた後も、宿泊施設を生かし、災害復興支援に協力する団体などの拠点となる。そんな間接的な復興支援もこの町にできることの一つだ。

り。東京電力が支払えない分は、おそらく国が補償をすることになるだろう。

東日本大震災の直接的な被害額は、政府試算で約16兆円から25兆円と発表されたので、国の負担も相当な額に上ることが予想される。

被災地の復興支援に被災者を雇用する、事態が収束するまで、被災地の産業を国営化して雇用するなど、新たな制度を作った補償をする部分と、金銭で補償をする部分とを明確に分けた方が必要だと言われている。被災者はもちろん、本町のように風評被害に苦しむ人など、すべての人に十分な補償が行き渡るような施策を望む。



民宿えびすやの皆さんと避難中の浪江町の皆さん。「ここに来るまで1カ月も笑ったことがなかった。今はやっと笑えるようになった」「人の情けのありがたさを感じている」と話す人もいる。お互いに、心と心を寄り添わせるような生活を送っている。

取材を終えて 「復興へのシナリオ」

福島第1原発の事故から2カ月が経過した。避難者の一時帰宅は認められたものの、厳しい制限付きであり、事故の収束までには、最短でも数カ月以上かかる見通しだ。

避難者を支えるわれわれ周辺自治体が元気でなければ、被災地を、被災者を助けることはできない。そのためには、自分たちの身や生活を守りながら、できることを探していきたい。

えびすやに見られるような心の通い合う支援の方法は、きっとほかにもある。無理はしなくていい。過剰なサービスは長続きしない。一過性の支援で終わらない、継続できる支援を考え、実践していくことが必要だ。

甚大な被害を受けた市町村には、震災を逆手に取った復興ビジョンと、それを可能にする財政出動が必要不可欠。菅総理が「全国民の英知を結集する」として人選し、佐藤雄平知事をはじめ、岩手県の達増知事、宮城県の村井知事らが委員を務める政府の東日本大震災復興構想会議で、良案が出ることを期待したい。

すべてが想定外だった東日本大震災。さらに見えない脅威との戦い。市町村、県、国や東京電力は単独では立ち向かえない。すでにアメリカやフランスが協力を始め、国際原子力機関(IAEA)の放射能専門家チームも独自に放射線の測定を開始している。規制の枠組みを取り払い、世界中の英知を結集して問題解決に当たってほしいと願う。

世界中の注目の中、世界最先端の技術と知恵で問題を解決したノウハウが、福島を世界最先端の防災都市「福島」として蘇らせる。そうなれば、風評被害どころか、世界中から多くの人々が福島を訪れる日が来るだろう。

多少大きな話になってしまったかもしれないが、その第一歩は一人一人の行動から始まる。

特集 私たちにできること 終わり

110人の区長に委嘱状交付

23年度の町区長委嘱状交付式は4月7日、役場正庁で開催されました。
 委嘱状の交付に先立ち、長年区長を務められ、退任された皆さんに感謝状が贈られました。
 交付式では各地区の区長に町長から委嘱状が手渡され、町政進展のため、協力をお願いしました。

次の人たちが

区長です

(敬称略) ○は区長会長

猪苗代地区

四ツ谷 渡部博幸
 名古屋町 涌井正一
 古城町 月岡義文
 本町 岡村毅
 旭町 五十嵐忠行
 新町イ 浅井甚一郎
 新町口 ○笹岡正人
 上新町 壽田直道
 九軒町 芥川光伸
 半坂 山本廣市
 神明町 齋藤一好
 新北町 岡村三彦
 新堀向 宇月晴彦
 今泉 磯川盛雄
 見祿 小桃

翁島地区

沼ノ倉 鈴木孝二
 渋谷 長谷川真児
 長坂 渡部一夫
 土町 長尾勝夫
 祿次 長谷川克則
 川上 磯谷涉
 見祿山 長谷川芳春
 葉山 長谷川民男
 スキー場 青木茂夫
 桜ヶ丘 笠間熊市
 千貫 大堀浩

千里地区

行津桜川 板橋浩壽
 翁島駅前 三浦武史
 土田 澁谷一夫
 蟹沢・長浜 渡部光孝
 戸ノ口・三金 渡部寛
 不動 山崎正寛
 磐根 穴澤正孝
 砂川 ○渡部重信
 天鏡台温泉 橋口直幸

月輪地区

関脇 吉野文夫
 都沢 村澤利一
 壺下 白岩利則
 志田浜 吉田昌弘
 上戸 大川原常吉
 上戸駅前 河村啓
 湊志田 安部利雄
 山濁 安部崇
 金子沼 渡部榮一
 川崎 深谷昌弘
 夷田 関谷隆
 中目 渡部好春
 松橋 ○古川新一郎
 小平濁 佐藤文和
 松橋浜 齋藤三十四夫

長瀬地区

幸野 渡部忠和
 川野 長澤一夫
 新屋敷 大坂恭一
 曲淵 佐瀬正喜
 東館 五十嵐政信
 白津 渡部秀幸
 内野 渡部忠義
 明戸 佐藤一

吾妻地区

下館 半澤泰
 志津 遠藤吉春
 荻窪 ○齋藤直
 水沢 渡部清昭
 伯父ヶ倉 遠藤晴男
 道下 瀧澤美幸



津金町長から各地区の代表者に委嘱状が手渡されました

全体区長会議

感謝状贈呈者

(敬称略)

4年以上在職者

四ツ谷 鈴木恒夫 (6年間)
 古城町 山内新榮 (9年間)
 相名目 瀬戸亮 (4年間)
 扇田 阿部俊雄 (5年間)
 仁蔵 渡部眞 (4年間)
 上戸 大川原正英 (4年間)
 東館 大塚彰 (5年間)
 小田 佐藤太市 (4年間)
 市沢 遠藤登美夫 (8年間)
 達沢 小椋隆夫 (9年間)
 中ノ沢 渡部光男 (4年間)



感謝状を受け取る阿部俊雄さん(扇田)

委嘱状交付式に続いて開かれた全体区長会議では、行政区長としての任務、町が取り組む各種事業に対する協力依頼や町からの各種補助・助成金などについて説明を実施しました。
 質疑では、原発事故に伴う放射性物質の影響や今後の町政執行などについて質問や要望が挙げられました。
 (○印が質問、▼印が回答)

○町の水道水については、ほぼ猪苗代の全域が放射性物質モニタリング検査を受けているようだ。この検査をした地域のほか、山湯地区には田子

沼地区や空窪地区などがあるが、この地域も検査をしているだけか。

▼町の上水道・簡易水道の水源地の放射性物質モニタリング検査の結果は、会議資料の中に掲載されています。このほかにも、国から指定された猪苗代ヒルズ地区で検査が実施されました。本町の水源は、主に地下水を使っています。地下水については、会津全域で検査が実施されていますが、今のところ放射性物質は検出されていません。

今回の検査は、国の認可を受けている水源が対象ですが、田子沼地区については、今後県や保健所に相談させていたできます。

○線量計での環境放射能測定検査について伺う。生活していれば、呼吸をし、水を飲み、食事をする。内部被曝などで検査結果の3〜4倍の影響があるのではないかと。

▼専門家ではないので詳しいことは申し上げられないが、現在の数値については、十分

健康に影響のない範囲であると国や県から指導をいただいている。報道される単位がミリシーベルトの表現に変われば危険な状況が考えられますが、マイクロシーベルトの段階ですので、本町については安全なエリアであると認識しています。この件については、専門家から指導をいただきましたと思っています。

○公共下水道の被害があったということですが、それらの修復の費用は町負担だと思えます。公共下水道が引けない当地区では、今回の地震で各家の浄化槽が被害にあっていますが、そうした場合、浄化槽は全額個人負担になるのでしょうか。町で負担していたかどうか。町で負担していたかどうか。町で負担していたかどうか。

▼合併浄化槽については、県に問い合わせたところ補助の対象にならないという回答でした。また、合併浄化槽の設置には、補助金を支出するなどして公平性の確保に務めていますので、個人負担でお願いします。

○3月末、農林課から水環境事業の関係で、水路にゴミ止めを設置してはどうかというお話をいただきました。区

で協議したところ、一番下流でつけても、上流からのゴミを下流で受けるだけになってしまふので、町全体で取り組まないとうまくいかないと意見が出ました。猪苗代湖の環境保全、環境美化の見地から町全体の事業として進めていきたいと思います。

▼水路に設置する草止め、スクリーンは、刈り取った草などが流入しないように設置するものです。お話しを通り、町全体で実施すれば、より効果が上がるだろうと思います。

農地・水環境保全向上対策事業などを利用して整備することができまふので、町全体で推奨しながら取り組んでいきたいと思っています。



全体区長会議の様子

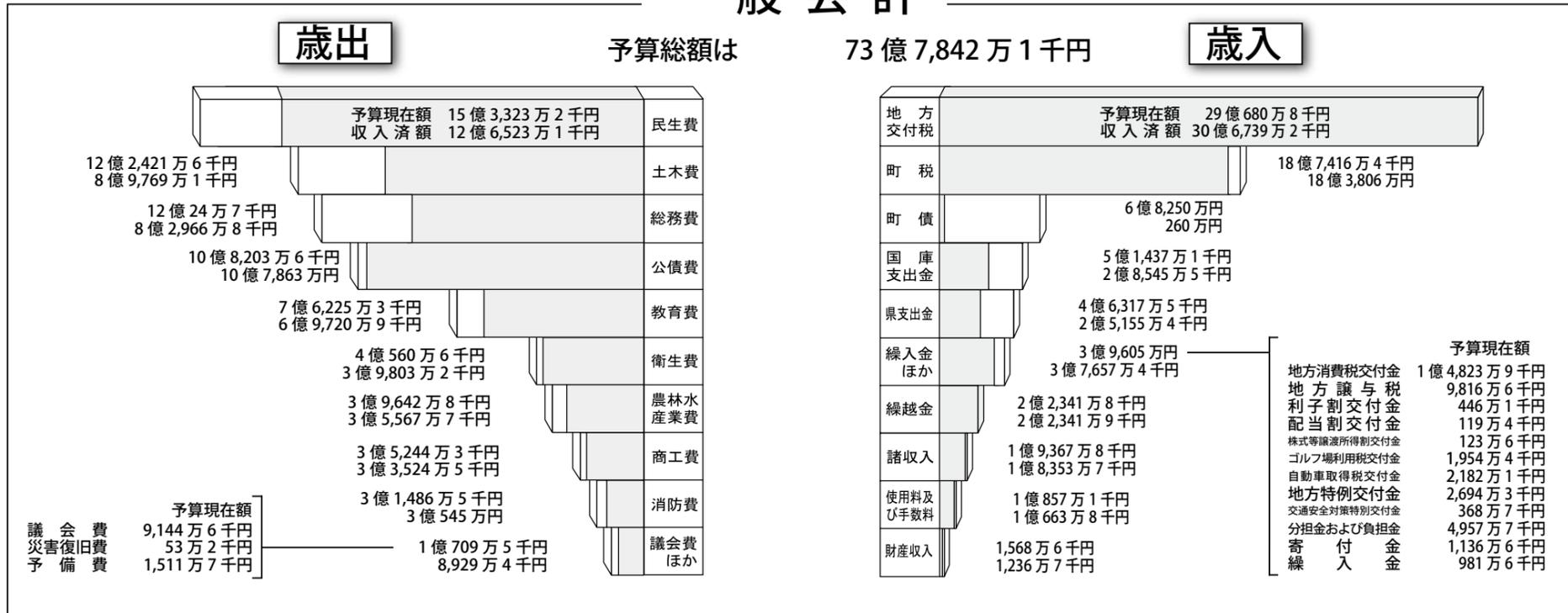
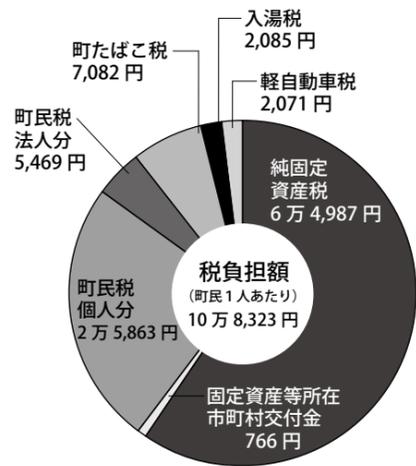
▼問い合わせ先
 総務課 秘書広報業務
 ☎(62) 2111

■平成 22 年度下半期財政状況

町のお金は このように使われました

一般会計

みなさんが納めた税金



23年3月末までに使った、町のお金の状況をお知らせします。これは、地方自治法と町条例に基づき、毎年5月と11月の2回、町の財政状況を皆さんに公表しているものです。一般会計は下半期中、3回の補正をし、歳入歳出の予算現在額は73億7,842万1千円となり、3月末までの予算現在額に対する収入割合は86・03%、支出割合は89・73%となっています。国民健康保険など12の特別会計は、下半期中、合計で51,399万円の補正をし、予算現在額は44億1,182万6千円となりました。3月末までの予算現在額に対する収入割合は80・71%、支出割合は90・88%となっています。

基金の状況

(平成22年度末見込額)

- ▼財政調整基金 6億7,608万1千円
- ▼減債基金 1億7,066万4千円
- ▼文化センター建設基金 1億2,511万1千円
- ▼温泉センター建設基金 2,344万6千円
- ▼ほ場整備事業推進基金 8,522万円
- ▼公共下水道整備基金 31,266万1千円
- ▼ふるさと創生基金 23,977万2千円
- ▼リゾート開発環境整備基金 8,222万円
- ▼ふるさと水と土保全基金 1,063万8千円
- ▼地域福祉基金 2億1,877万2千円
- ▼電源立地地域対策交付金基金 5,073万1千円
- ▼世界選手権猪苗代大会開催記念基金 1,256万円
- ▼猪苗代町そば大豆等刈取機整備基金 2,900万円

◎基金を運用しながら事業を

一般会計	特別会計
総務	2億7,481万円
民生	6,040万5千円
衛生	1億3,397万3千円
農林水産	5億3,851万6千円
商工	775万8千円
土木	28億3,496万6千円
公営住宅	9億873万1千円
消防	7,446万8千円
教育	12億8,256万6千円
災害復旧	3,222万8千円
臨時財政対策債など	30億6,513万9千円
一般会計合計	92億1,356万円
特別会計合計	67億1,756万1千円
町債現在高合計	159億3,112万1千円

会計区分	予算現在額	収入済額	支出済額
猪苗代地区財産区	1,195万3千円	897万6千円	437万3千円
翁島地区財産区	278万7千円	250万8千円	52万円
長瀬地区財産区	1,299万4千円	1,259万3千円	1,252万8千円
吾妻地区財産区	3,314万8千円	2,959万4千円	2,809万6千円
国民健康保険	17億6,818万8千円	15億2,504万3千円	15億6,504万3千円
老人保健	27万4千円	35万円	13万9千円
簡易水道事業	6,282万9千円	5,847万1千円	5,583万7千円
公共下水道事業	6億5,483万2千円	4億4,617万1千円	6億4,161万3千円
特定環境保全下水道事業	1億2,108万9千円	9,628万8千円	1億1,724万円
農業集落排水事業	3億7,136万6千円	2億129万8千円	2億4,588万1千円
介護保険	12億907万6千円	10億2,472万8千円	11億8,445万7千円
後期高齢者医療	1億6,329万円	1億5,457万6千円	1億5,386万8千円
計	44億1,182万6千円	35億6,059万6千円	40億959万5千円

公営企業会計

区分	収入	支出	差引
収益的	3億307万9千円	2億5,918万5千円	4,389万4千円
資本的	134万3千円	1億3,448万6千円	△1億3,314万3千円
計	3億442万2千円	4億9,366万1千円	△1億4,923万9千円

※資本的収支の不足額1億3,314万3千円は内部留保資金、建設改良積立金などから補てんしました。

区分	収入	支出	差引
収益的	5,878万円	5,206万2千円	6,718千円
資本的	8,693万円	8,693万円	0円
計	14,571万円	13,899万2千円	6,718千円

用語をチエック

※予算額の大きい歳出科目について解説します

- ▼民生費 老人福祉や児童福祉、障害者福祉、保育所の運営などに使うお金
- ▼土木費 町道の舗装補修、防雪柵の設置、道路の新設改良、都市計画街路、町営住宅建設などに使うお金
- ▼総務費 交通安全対策、振興計画策定、町庁舎の管理などに使うお金
- ▼公債費 町が学校を建てたり、道路を造ったりするときに借りたお金を返すためのものです。借りたお金は毎年計画的に返済しています

▼教育費 小中学校や幼稚園の教育環境の整備、生涯学習、文化財保護などに使うお金

▼問い合わせ先
企画財務課財務業務
☎(02)2112

狂犬病予防注射日程表

5月30日(月)～6月7日(火)

生後91日以上の犬を飼っている人は、狂犬病予防法の規定により、登録申請と毎年の狂犬病予防注射を受けなければいけません。今年は、別表のとおり実施しますので、忘れずに登録と狂犬病予防注射を済ませてください。



*持参するもの

①費用等(下記の金額) ②役場から送付された封筒

●22年度までに登録をした人

注射料 2,550円 注射済票交付手数料 550円
合計 3,100円

●新たに犬を飼った人

上記のほか 登録料 3,000円
合計 6,100円

*狂犬病予防注射を受けるのは「健康な犬」に限ります。

*問診表(役場から送付されたピンク色の用紙)が必要になりますので、必ず記入して持参してください。

■問い合わせ先 町民生活課 生活環境業務 ☎(62)2114

5月30日(月)

時間	場所	地区名
9:00～9:30	町役場車庫前	四ツ谷
9:35～9:50	亀ヶ城入口	古城町
9:55～10:05	本町消防屯所前	本町
10:10～10:25	齊藤呉服店前	新町イ・新町口
10:30～11:00	神明町地蔵前	九軒町・神明町
11:05～11:25	町児童館前	新北町
11:30～11:50	上新町消防屯所前	上新町
13:10～13:25	中町消防屯所前	中町
13:30～13:45	土町集会所前	土町
13:50～14:05	葉山荘前	葉山
14:10～14:20	猪苗代観光ホテル駐車場	スキー場
14:25～14:35	丸清水井戸前	見祢山
14:40～15:10	半坂集会所前	半坂
15:15～15:30	祢次集会所前	祢次
15:35～15:45	(元)三ツ和食堂前	砂川
15:50～16:00	五十軒集会所前	五十軒

5月31日(火)

時間	場所	地区名
9:00～9:10	モービルパーク猪苗代前	渋谷
9:25～9:35	千貫消防屯所前	千貫
9:40～9:50	川上集会所前	川上
9:55～10:05	長坂集会所前	長坂
10:10～10:20	三ツ屋荘前	三ツ屋
10:25～10:45	渋谷集会所前	渋谷
10:50～11:10	渡部産業前	沼ノ倉
11:15～11:45	見祢集会所前	見祢
13:10～13:50	本町五区会第二集会所前	旭町・名古屋町
13:55～14:05	今泉公民館前	今泉
14:10～14:20	新堀向集会所前	新堀向
14:25～14:35	桜ヶ丘集会所前	桜ヶ丘
14:45～15:10	不動集会所前	不動
15:15～15:25	元北会津開拓農協跡地	磐根
15:30～15:50	翁島駅前公民館前	翁島駅前
15:55～16:10	土田集会所前	土田

6月1日(水)

時間	場所	地区名
9:00～9:10	行津桜川集会所前	行津桜川
9:25～9:35	南ヶ丘牧場前	三本木
9:45～9:55	戸ノ口消防屯所前	戸ノ口
10:05～10:15	ホテルみなとや駐車場	長浜・金子沢
10:20～10:30	蟹沢集会所前	蟹沢
10:35～10:50	西久保公民館前	西久保
11:00～11:20	翁島地区コミュニティセンター前	三城潟
11:25～11:40	新在家集会所前	新在家
13:10～13:20	西真行集会所前	西真行
13:25～13:35	大在家集会所前	大在家
13:40～13:50	本間建設駐車場	釜井
13:55～14:25	烏帽子集会所前・鈴木哲雄さん宅	烏帽子
14:30～14:40	東真行集会所前	東真行
14:45～15:00	南真行集会所前	南真行
15:05～15:15	仁蔵集会所前	仁蔵
15:20～15:40	蜂屋敷集会所前	蜂屋敷
15:45～16:00	廻谷地集会所前	廻谷地

6月2日(木)

時間	場所	地区名
9:00～9:15	堀切公会堂前	伯父ヶ倉
9:20～9:30	白木城集会所前	白木城
9:35～9:50	小水沢地蔵様前	小水沢
9:55～10:20	樋ノ口集会所前	樋ノ口
10:25～10:50	小田消防屯所前	小田
10:55～11:10	名家集会所前	名家
11:15～11:25	酸川野消防屯所前	酸川野
11:30～11:45	田茂沢集会所前	田茂沢
13:10～13:30	木地小屋消防屯所前	木地小屋
13:35～13:55	大原消防屯所前	大原
14:00～14:15	沼尻サブセンター前	沼尻駅前
14:20～14:30	のんびり館駐車場	沼尻温泉
14:35～14:45	旧中ノ沢保育所前	中ノ沢
14:50～15:10	中ノ沢旅館案内所脇	中ノ沢
15:15～15:40	達沢改善センター前	達沢
15:50～16:00	清水屋製麺前	田茂沢

6月3日(金)

時間	場所	地区名
9:10～9:40	市沢集会所前	市沢
9:45～9:55	高橋善数さん宅前	金堀
10:00～10:10	高橋政夫さん宅前	大島原
10:15～10:25	蒲谷地集会所前	蒲谷地
10:30～10:45	佐藤俊吉さん宅前	西高森
10:50～11:05	高森集会所前	高森
11:10～11:20	佐藤勇一さん宅前	中原
11:30～11:35	水沢集会所前	水沢
11:40～11:50	荻窪集会所前	荻窪
13:10～13:20	志津集会所前	志津
13:25～13:35	下館集会所前	下館
13:40～14:05	旧長瀬連絡所前	内野
14:10～14:20	明戸集会所前	明戸
14:25～14:45	白津集会所前	白津
14:50～15:15	大山祇神社前	川桁
15:20～15:35	新屋敷公民館前	新屋敷・曲淵・道下
15:40～16:00	川桁駅前	川桁

6月6日(月)

時間	場所	地区名
9:00～9:20	幸野消防屯所前	幸野
9:25～9:35	都沢多目的集会所前	都沢
9:40～9:50	関都駅前広場	関脇
9:55～10:00	旧月輪連絡所前	関脇
10:05～10:25	壺下消防屯所前	壺下
10:30～10:40	みどり幼稚園西側	湊志田
10:45～10:55	上戸集会所前	上戸
11:05～11:15	田子沼集会所前	田子沼
11:20～11:40	山潟集会所前	山潟
11:45～11:50	上戸駅前広場	上戸駅前
11:55～12:00	つるや前駐車場	志田浜
13:15～13:25	山崎一男さん宅前	川崎
13:30～13:55	金曲消防屯所前	金曲
14:00～14:15	小平潟集会所前	小平潟
14:20～14:30	古川貞夫さん宅前	松橋浜
14:35～14:45	レストラン白鳥脇	松橋浜
14:50～15:05	松橋消防屯所前	松橋
15:10～15:20	中目集会所前	中目
15:25～15:40	夷田集会所前	夷田
15:45～16:00	入江集会所前	入江・牛沼

6月7日(火)

時間	場所	地区名
9:00～9:10	相名目集会所前	相名目
9:15～9:25	富永集会所前	富永
9:30～9:40	打越集会所前	打越
9:45～10:15	西館集会所前	西館
10:20～10:40	北高野集会所前	北高野
10:45～11:10	千代田遊園地	千代田・扇田
11:15～11:25	熊野神社前	八千代
11:30～11:50	町役場車庫前	六角
13:10～13:30	百目貫集会所前	百目貫・上ノ上
13:35～13:50	堤崎集会所前	堤崎
13:55～14:10	島田集会所前	島田
14:15～14:30	天鏡台温泉管理事務所前	天鏡台温泉

High school



伝統を受け継ぐ67人が入学

猪苗代高等学校(荒井一成校長)の入学式は4月8日、同校体育館で挙行政され、普通科37人、国際観光科30人が期待に胸を膨らませながら新たな学びの門をくぐりました。

式では、新入生一人一人の名前が呼ばれた後、全員の入学が許可されました。

荒井校長は「今回の震災で約3,500人の高校生が学校に帰れなくなっている。皆さんは大変な時期に入学したが、しっかりした心で学習に取り組んでほしい。先輩たちが築いてきた伝統と誇りを受け継ぎ『英知、忍耐、勤労』の素晴らしい校訓のもと、勉強と運動を頑張ってもらいたい。健康で爽やかな高校生活を送ることを祈る」と式辞を述べました。

その後、新入生を代表し二瓶大地さんが「震災に苦しむ人を勇気づけ、福島を明るくするために勉強に励む」と誓いの言葉を述べました。



写真上 晴れの日を迎えた67人の生徒たち。震災直後の大変な時期に入学しましたが、その目は復興後の明るい未来を見つめています
写真下 誓いの言葉を述べる新入生代表の二瓶大地さん

Elementary school



町内6小学校で入学式挙行政

町内6小学校の入学式は4月6日、各小学校で行われ、児童たちが憧れの小学校生活のスタートを切りました。長瀬小学校(江川浩校長)では、東日本大震災の影響で体育館が使用できないため、図工室での開催となりましたが、入学する16人は元気な笑顔で式に臨みました。

式では、江川校長が「小学校はとても楽しいところ。お兄さんやお姉さんと一緒に、楽しく過ごしてください。いつでもどこでもきちんと挨拶できる子ども、人の話をしっかりと聞ける子ども。一つしかない命を大切にする子ども。この三つを目標に頑張ってもらいたい」と式辞。在校生が「いっぱい一緒に遊んで楽しい学校生活を送ろう。分からないことがあったら何でも聞いて」と歓迎の言葉を述べ、拍手で新入生を祝福すると、1年生は恥ずかしそうな笑顔を浮かべていました。



写真上 在校生による歓迎の言葉。「楽しい学校生活を送ろう」と話し、校歌を歌って新入生を歓迎しました
写真下 入学児を代表して、佐藤真央さんに文房具が手渡された

INAWASHIRO



新しいお友だちと遊びます

町内5幼稚園の入園式は4月8日、各園で挙行政され、呼名に応える園児たちの「はい」という元気な声が園内に響きました。

猪苗代幼稚園(本多勝男園長)には、うめ組とも組を合わせて36人が入園。本多園長の「幼稚園はとても楽しいところです。みんなと早く仲良くなって、いっぱい遊ぼう」との挨拶に、園児たちは笑顔でうなずきました。

千里幼稚園(鈴木勝義園長)では、うさぎ組、きりん組を合わせて28人が入園。鈴木園長は「早寝、早起き、朝ごはん。おはよう・ありがとうと挨拶のできる子。耳と目と心でお話を聞ける子」と、3つのめあてを発表。園児と保護者に協力をお願いしました。

各幼稚園では、子どもたちの健やかな成長のため、安心、安全な園づくりが進められます。



写真上 大きな声で「はい」と返事をする千里幼稚園の新入園児たち
写真下 在園児と父兄らが見守る中、一列になって会場に入る猪苗代幼稚園の新入園児たち



吾妻中学校で交通教室実施

吾妻中学校の交通教室は4月27日、同校周辺の通学路などで実施され、全校生徒73人が無事故の誓いを新たにしました。

全体会では、矢澤良伸校長の挨拶の後、猪苗代警察署吾妻駐在所の渡辺宏巡查部長が注意事項を説明。「車の運転手も常に集中している訳ではない。歩行者や自転車に乗った人も自分から車などに注意し、自分の命は自分で守るという気持ちを持たなければならない」と注意を呼び掛けました。

訓練では、自転車通学の生徒は自転車、徒歩・バス通学の生徒は歩きで通学路に出発。危険箇所などを再確認し、渡辺巡查部長の指導を受けました。

生徒を代表し、神末由華さん(3年)が「忙しい中指導していただき、ありがとうございます。これからも交通ルールを守り安全に登校します」とお礼の言葉を述べました。



写真上 生徒たちに「自分の命は自分で守る気持ち」と注意を呼び掛けた渡辺さん
写真下 自転車に乗り通学路に発する生徒たち。国道115号線の交差点などで、危険箇所を指導を受けました

Kindergarten

Junior high school



納税への長年の協力に感謝

退任納税貯蓄組合長に感謝状贈呈



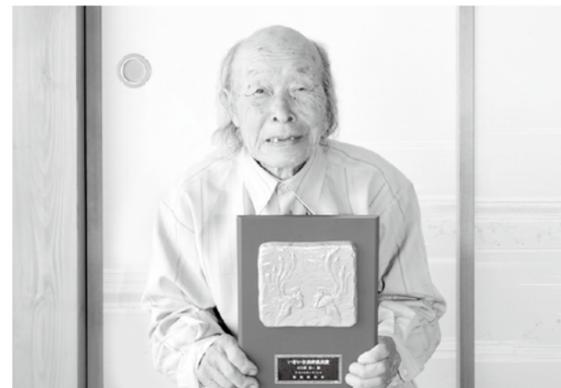
感謝状を受ける阿部敏夫さん(中央)

町納税貯蓄組合永年在職(退職)者に対する表彰式は4月15日、町役場正庁で開催されました。表彰は、町納税貯蓄組合長大会の席上で執り行われ、長年組合長を務め退任された皆さんに、津金町長から感謝状とお礼の言葉が贈られました。

表彰を受けた皆さんは次のとおりです(敬称略()内は納税貯蓄組合名)。阿部敏夫(新町第1)、中村昭司(新町第3)、小坂橋言子(見称)、菅沼道夫(六角)、日下部洋一(田子沼)、古川一吉(都沢第1)、吉野文夫(関脇第3)、六角江利(金曲第1)、山本丈彦(水沢)、佐藤一(伯父ヶ倉第1)、林部悦夫(大原第2)

輝く笑顔のお二人に県民賞

第14回いきいき長寿県民賞を受賞



「私はまだ88歳、100歳まで生きて唄い続けたい」と笑顔を見せた大川原さん

昨年、第14回いきいき長寿県民賞を受賞した大川原一さん(上戸)と高梨徳美さん(川桁)。現在もいきいきと活動を続けるお二人に話を聞きました。

大川原さんは大正12年1月4日生まれの88歳。猪苗代三番叟保存会の初代会長を務め、町内外のイベントや慰問など活動で、猪苗代に伝わる三番叟(目出度、松坂、ショーネ節)を唄い継いで来ました。現在は同会の相談役を務めています。第一線での活躍は相変わらず。特にお囃子の絶妙な節回しは、右に出るものがないと言われています。

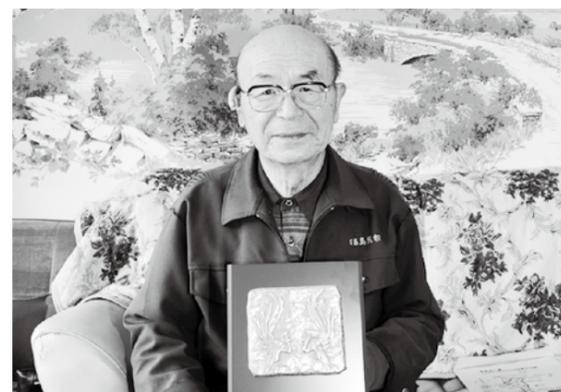
今回の受賞の感想を「とてもうれしく思っています。こういうのが私の励み。これからは元気で、100歳まで唄い続けたい」と笑顔で話しました。

高梨徳美さんは大正13年6月9日生まれの86歳。県自転車軽自動車商工協同組合の理事などを務め、現在も同組合猪苗代支部長、県サイクリング協会指導員、猪苗代防犯協会理事として活躍中。川桁地区の要職なども歴任し、その役職は数え上げればきりが無いほど。

さまざまな人に頼られ、長年いろいろな役職を引き受けてきた高梨さん。「頼るより、頼られる人間になりたいと思って生きてきた。人の役に立つことは私の生きがいです。そのせいか在職期間が長くなってしまおう」と笑います。

お二人の今後ますますのご活躍を期待します。

※いきいき長寿県民賞は、いきいきと年齢を感じさせない生き方をしている高齢者や積極的に社会参加活動をしている高齢者団体などの活動を紹介し表彰する、県と県社会福祉協議会の事業です。



「これからも皆さんのお役に立ちたい」と笑顔で抱負を語った高梨さん

昭和初期の嫁入り行列再び

「おシンさんの嫁入り」6月に決定



会員を前にあいさつする本間会長

おシンさんの嫁入り保存会(本間昌儀会長 会員97人)の平成22年度総会は4月18日、学びいなどで開催され、同会の会員約50人が出席しました。

議事に先立ち、本間会長が「避難者の人に、福島元気な姿を全国に発信してくださいと言われた。できることを一生懸命にやることが、復興につながるのではないか」とあいさつ。

活動経過の報告や決算の承認などの後、事業計画について話し合い、6月11日(土)の開催や配役などが決定しました。

コースや予定時間など、詳しくは学びの泉をご覧ください。

霜の被害から農作物を守る

町農林課内に防霜対策本部を設置



看板を設置する一ノ瀬統括支店長(右)と津金町長(左)

農作物を霜の被害から守るため、対策技術の指導や防災無線による霜注意報の提供などをする町防霜対策本部が4月18日、町役場農林課に設置されました。

役場正面玄関で執り行われた設置式では、津金町長が「放射能の影響なども心配されているが、現在のところ本町の農作物は大丈夫。収穫を楽しみにしている」とあいさつ。一ノ瀬正義JAあいつ猪苗代地区統括支店長と一緒に看板を掲げて対策本部の設置をPRしました。対策本部の設置期間は5月末までの43日間となっています。

児童たちの学校生活を応援

かあちゃん茶屋のメンバーが寄付



寄付を手渡すかあちゃん茶屋の皆さん(右)

四ツ谷地区のお母さんたちで組織する四ツ谷かあちゃん茶屋(渡部百合子代表)のメンバーらは4月11日、猪苗代小学校を訪れ、子どもたちのために10万円を寄付しました。この浄財は、地域の子どものためにと出店した磐梯まつりでの売上金を5年間ためたもの。渡部代表は「不自由な避難生活を送りながらも元気に学校に通う子どもたちに、不足しているものがあれば使ってほしい」と話し、町校長会会長の久米本哲夫校長に寄付を手渡しました。久米本校長は「ありがとうございます。各校と相談して有効に使わせていただきます」とお礼を述べました。

認知症に正しい理解を

「フレディの遺言」
『もし私が、痴呆老人になつたら、その時、私を介護してくれるあなたに、次のようなことをお願いしておきたいと思いません。これらのお願いは、決してむずかしいことでもなければ、あなたを精神的にあるいは金銭的に苦しめる物でもありません。ほんのささやかなお願いですので、ぜひ聞き届けてください。どうぞよろしくおねがいいたします。』

私が医者であったことをまず忘れてください。知識は遠いかなたへ消え去り、今では人の助けなしには一日も暮らせない別の人間になってしまっているのです。そんな私にあなたは静かに話しかけてください。決して大きな声で私に話さないでください。

あなたが大きな声で話すと、たとえあなたが怒っていないくても、私はあなたにんだかどとも強く叱られたように感じて怖くなってしまう。本来、やさしいと思っていたあなたに、「えっ、なに！おじいちゃん」な

「フレディの遺言」
「フレディの遺言」という本の一部を抜粋したものです。何千人もの認知症患者を看続けた老人病院の院長が「もし私がボケたらこうしてほしい」と語る言葉。それは、介護の心構えとして私たちの心に届くとともに、胸を熱くさせます。

これは、フレディ松川著「フレディの遺言」という本の一部を抜粋したものです。何千人もの認知症患者を看続けた老人病院の院長が「もし私がボケたらこうしてほしい」と語る言葉。それは、介護の心構えとして私たちの心に届くとともに、胸を熱くさせます。

尊敬を持って、最後まで自分らしくありたい。これは誰もが望むことですが、この願いをばみ、深刻な問題となっているのが認知症です。この病気は、高齢者にとつて最大の不安であるばかりでなく、本人や家族だけで解決できる問題でもありません。超高齢化社会の最重要課題の一つに挙げられています。

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気です。85歳以上では、

「フレディの遺言」
4人に1人がその症状を訴えると言われており、今後はさらに増加すると予想されています。認知症の症状に最初に気づくのは本人です。物忘れによる失敗、今まで苦もなくやっていた家事や仕事があまういかなくなるなどが徐々に多くなり、何となくおかしいと感じ始めます。症状が進むと、つい先ほど食べた食事を忘れてしまったり、認知症を心配して抑うつ的ななったりします。自分は認知症ではないと思うあまり「自分が忘れていたのではなく、周囲の人が自分を陥れようとしているのだ」と妄想してしまう人もいます。

自分が認知症になったのではないかという不安は、健康な人には想像もつきません。認知症の人は何も分からなくなるのではなく、誰よりも苦しみ、悲しみ、心配するのです。

自分が認知症になる可能性も考え、認知症という病気を理解し、自分だったらどうするかということを考えなければ、認知症患者を支援することは難しいものです。

「フレディの遺言」
普段どおりの付き合いを
もし、友だちが認知症になったら、友人としてすべきことは、認知症の障害を補いながら、今までどおり友人として付き合いを続けることです。

記憶力や判断能力の衰えから、反社会行為などのトラブルを起こしてしまつた場合には、家族と連絡をとり、本人の尊厳を守りながら、事情を把握して冷静に対応することが必要です。

そのほか、認知症の人も一般の人との付き合いも基本的には変わりません。偏見を持たず、自然に接することで認知症の人やその家族が安心して生活できるようにになります。

認知症の相談は、町役場保健福祉課または猪苗代町地域包括支援センターまで、お気軽にお寄せください。

▼問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり業務
☎(62) 2115
地域包括支援センター
☎(72) 1530



中央左が杏音ちゃん。右は兄の大護くん

「二人とも明るく元気で常識のある子に育ててほしい」とパパとママは話しています。

佐藤 杏音 ちゃん

平成22年3月生まれ
～中の沢 剛太郎さん・千秋さん夫婦の長女

1歳を迎える前に歩き始めたという杏音ちゃん。1人で階段を上ったり、玄関から出ようとしたりと目が離せません。大好きなお兄ちゃんの大護くんと遊ぼうと、一生懸命に後を追いかけています。最近のお気に入りには、おもちゃの車に乗ってドライブをすること。「一回乗るとなかなか降りてくれないんです」とパパの剛太郎さんは笑う。

「好奇心が旺盛すぎて、全然じっとしていません」と笑いながら、杏音ちゃんをやさしく見つめるのはママの千秋さん。

春から保育所に通い始めた杏音ちゃんは、友だちと遊ぶなどいろいろな経験をしている真つ最中。パパとママは、毎日のように成長を感じていると笑顔で話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62) 2111

サークル紹介

Circle introduction

「フラを通じてハワイの文化を理解し、楽しみながらフラを習得する」を目標に、12人で活動しているえみフラスクール猪苗代教室の皆さん。

発表会のほかにも、いならしるホームなどの慰問活動など、多方面で活躍しています。

講師は、郡山市のえみフラスクール代表の阿部えみ先生。国内の大会で優勝した経験を持つ本格派の先生です。

「フラを踊るのは本当に楽しい。みんな教室を楽しくしています」と話すのは、筒井美知子代表。同教室では会員も募集しています。申し込みは学びいなまで。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。毎月一団体ずつ紹介していきますので、希望する団体は総務課秘書広報業務まで問い合わせください。
☎(62) 2111

えみフラスクール猪苗代教室

毎回教室に来て踊るのが楽しいと話すメンバーの皆さん



(写真左)「会員も募集しています」と話す筒井代表
(写真右) ジーンズ姿で足の細やかな動きまで指導するえみ先生と練習中の皆さん

生涯学習講座のご案内

■アートエトセラ

作って楽しく、飾ってキレイ☆ いろいろなアートに挑戦します。希望日だけの受講でも大丈夫です。

●開催日と内容：

- 籐づる工芸：① 5月31日 ② 6月14日
- ハワイアンキルト：③ 6月28日 ④ 7月12日
- ⑤ 7月19日
- ちぎり絵：⑥ 9月6日 ⑦ 9月20日
- 切り絵：⑧ 10月18日 ⑨ 10月25日

●時間：午前10時～正午

(毎回火曜日/全9回)

●定員：20人

●料金：材料費だけ
徴収します



■ジョイフルセミナー

家事や育児で多忙な毎日にちょっと一息。自分自身を見つめなおしてみませんか。

●開催日と内容：

- ① 6月7日(火) 『アロマテラピー教室』
- ② 7月15日(金) 『アロマテラピー教室』
- ③ 8月23日(火) 『介護保険の仕組みと利用法』
- ④ 9月13日(火) 『シンプルな生活のために』
- ⑤ 10月4日(火) 『新聞の利活用』
- ⑥ 11月15日(火) 『体のゆがみ・骨盤エクササイズ』
- ⑦ 12月9日(金) 『顔の印象を変えるメイク術』

●時間：午前10時～正午

●定員：女性20人(保育付き)

■大人のガーデニング入門 ～苔玉をはじめよう～

自然の素材を使う作業には、癒しの効果があると言われています。土や植物などに触れて、その感触を楽しんでみませんか。初めての人も大歓迎です。

●開催日時：6月15日(水) 9時30分～11時30分

●講師：猪苗代山草会 本田嗣之先生 中村正先生

●定員：10人

●料金：1,000円(講師、材料代)

■生き粋セミナー

人生60を過ぎてからが面白い！いろいろな講座や移動教室を通して知識と交流を深めましょう。

●日時：

- ① 6月21日(火) 『しっかり足腰運動教室』
- ② 7月21日(木) 『フラはウクレレの調べ』
(講話と演奏)
- ③ 8月23日(火) 『介護保険の仕組みと利用法』
- ④ 9月27日(火) 『高齢者秋の交通安全教室』
- ⑤ 10月11日(火) 『日新館館長による社会教育講話』
- ⑥ 11月8日(火) 『移動学習』
- ⑦ 12月6日(火) 『まだまだ現役・我が家の防災博士』

●時間：午前10時～正午

●定員：60歳以上の人 30人

～お詫びと訂正～

学びの泉4月号の生涯学習講座のご案内で紹介しました「お茶の子彩々」講座の講師名に誤りがありました。正しくは
●講師：茶道裏千家 熊倉宗久先生 青木宗寛先生
となります。心からお詫びし、訂正いたします。

町内イベントのお知らせ

■がんばろうコンサート

東日本大震災の影響で延期されていた窓ぎわ文庫主催のコンサートが、6月19日(日)に開催されることになりました。本町出身の宇月東さんと津金久子さんが歌を、武蔵野音楽大学講師の大坪由里さんがピアノを担当し、東日本大震災のチャリティーコンサートとして開催されます。

●日時：6月19日(日)

●会場：学びいな

●料金：

- 前売り 2,000円
- 当日 2,500円

●主催：窓ぎわ文庫

☎ 090-5844-9685



左から大坪さん、津金さん、宇月さん

■おシンさんの嫁入り

「今によみがえる忘れかけていた…いにしへの記憶」をテーマに、昭和初期の結婚式を再現したおシンさんの嫁入りが実施されます。本年は、むかし体験館・学びいな・カメリーナの3会場を舞台に、古式ゆかしい当時の結婚式の様子が繰り広げられます。

猪苗代に受け継がれてきた伝統や風習を再確認し、昭和の時代に思いをはせてみませんか。

●日時：6月11日(土) 午前10時～午後2時

●行列出発：午前10時

むかし体験館前～カメリーナ～学びいな

●受取渡し：午前10時30分 亀ヶ城公園屋外ステージ

●本宿到着：午前11時 学びいな

●結び：午前11時30分 学びいな

●振る舞い：正午 カメリーナ

●主催：おシンさんの嫁入り保存会

■山野草展と書画の会作品展示会

猪苗代山草会と書画の会の作品展示会は5月21、22日の両日、学びいなで開催されます。

200点を越える山野草の鉢植えの展示に加え、東日本大震災へのチャリティー販売も実施します。皆さん気軽に足を運んでください。

●日時：5月21、22日(土、日) ●入場無料



かわいらしい山野草の鉢植えと迫力ある書画をお楽しみください



写真は一昨年のおシンさんの嫁入りの様子

町民健康マラソン大会を開催します

●開催日：6月26日(日)

●会場：町運動公園 陸上競技場
(スタート・ゴール)

●対象：町民または町内事業所に勤務する人、または町内スポーツクラブなどに所属する人、震災などにより町内に滞在している人

●参加料：1人一種目 500円

親子競争 1,000円

リレーマラソン 2,000円

※小中学生の参加については、後日、各学校から詳しい資料を配布します。

写真は昨年の大会の様子。子どもから大人まで、ご家族でも楽しめます。



町ふるさと歴史館 休館のお知らせ

亀ヶ城公園整備事業に伴い、町ふるさと歴史館を改築することになりました。つきましては、5月9日(月)から改築が終了するまでの間を休館とします。休館の間、文化財などについては旧山潟小学校に、図書室については町体験交流館(学びいな)内へ引越します。8月上旬から図書の貸出しを再開します。

教育委員会コラム

〈第十三回〉

東日本大震災に伴う原発事故は、放射能漏れだけにとどまらず「風評被害」でも人々の心を不安に陥れている。この方面の対策が急務だ。風評被害とは、人間の物事に対する心理的な不安や恐怖が引き起こすものであり、動物にはこういうものはない。

東洋史をさかのぼると、人間の愚かさや恐怖心を巧みに利用し、意図的に大規模な風評被害を起こして、一国を転覆させるようなことがしばしばあった。

三国志に登場する後漢末の「黄巾の乱」や清朝末の「太平天国の乱」は、根も葉もない風評がきっかけで大乱となった歴史的事にも有名な事件である。現王朝の命運は既に尽きたというような根拠のない噂は、乱世の風に乗って全国に流布し、何百年にも及んだ後漢、清の両帝国崩壊の遠因となった。風評被害は、時に国をも滅ぼすのである。

放射能漏れの報道以来、本県や北関東の一部では、農業、商工業、観光の諸分野で大変な風評被害を受けている。国際社会の中でも、日本そのものが嫌われ、高い技術を誇る日本の工業製品も苦戦を強いられている。

このような極めて非日常的な異常事態でなくとも、いろいろな人が、いろいろな時と場所ですさまじきことを勝手に喋りまくる時代である。

毎日教室で繰り返し行われる勉強には、雑多な情報の中から真実を見抜く力を身につけるといふ目的もある。(土屋)

人事

町職員の人事異動を お知らせします

町職員が5月1日付で異動しました。()内は旧職名。

異動【5月1日付】

課長相当職

▼税務課長(町民生活課長) 齋藤憲郎▼町民生活課長(農業委員事務局長) 齋藤安雄▼建設課長(税務課長) 小檜山勲▼農業委員会事務局長(保健福祉課主幹兼保育所長) 榊原源法▼保健福祉課主幹兼保育所長(教育総務課主任主査兼教育総務業務主任) 別府昭男

課長補佐相当職

▼会計室主任主査兼会計業務主任(町民生活課主任主査兼国保年金業務主任) 渡部浩幸▼町民生活課副課長兼国保年金業務主任(会計室主任主査兼会計業務主任) 石田俊明▼保健福祉課副課長兼高齢者福祉業務主任(保健福祉課主任主査兼高齢者福祉業務主任) 遠藤満▼商工観光課主任主査兼商工観光業務主任(生涯学習課主任主査兼生涯学習

予防接種

麻しん(はしか)・風しんの予防接種

東京や神奈川で麻しん(はしか)が流行しています。麻しんは非常に感染力が強く、肺炎、脳炎や中耳炎などを引き起こし、まれに死に至ることもあります。麻しんには特効薬がないため、ワクチン接種による予防が非常に大切です。

大型連休や被災地への人の出入りなどにより、今後感染が広まるおそれがあります。ワクチン接種の対象年齢で、まだ接種を受けていない人は、早めに接種を受けましょう。

●麻しん風しん(MR)対象者

- 1期…生後12〜24カ月の乳幼児
- 2期…小学校入学前年の幼児
- 3期…中学1年生
- 4期…高校3年生相当の人

●接種料金

公費負担のため無料

●方法

医療機関での個別接種です。1期は、1歳になったら速やかに受けさせましょう。2・3・4期対象者の人には、すでにお知らせを郵送していますので、詳しくはそちらをご覧ください

習業務主任) 佐藤重則▼建設課副課長兼都市整備業務主任(建設課主任主査兼都市整備業務主任) 鈴木一郎▼上下水道課副主幹(上下水道課主任主査兼下水道業務主任) 小林雅宏▼教育総務課主任主査兼教育総務業務主任(商工観光課主任主査兼商工観光業務主任) 古川一昭▼生涯学習課主任主査兼生涯学習業務主任(商工観光課主任主査) 鈴木敏▼農業委員会事務局次長兼農地業務主任(農業委員会事務局主任主査兼農地業務主任) 前後幸吉

係長相当職

▼上下水道課下水道業務主任(上下水道課主査) 古川睦志▼企画財務課主査(税務課主査) 土屋伸▼税務課主査(建設課主査) 林部伸▼商工観光課主査(保健福祉課主査) 松澤美恵▼建設課主査(企画財務課主査) 戸野部ミホ▼上下水道課主査(町民生活課主査) 鈴木由紀子▼上下水道課主査(企画財務課主査) 柴田敏和



新しい座席表は総務課に置いてあります

相談

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は毎月1回第3水曜日に開催しています。

▼猪苗代町行政相談委員

宮沢 重正さん(下館)

☎(62) 3995

▼開催日時 5月18日(水)

6月15日(水)

午後1時から3時まで

▼場所 町役場3階 日本間

▼その他 相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報業務

☎(62) 2111

掲示板

告示

・第35号「公共下水道に係る供

募集

町職員採用候補者

町では、24年度採用の町職員(大学卒程度、短大卒程度)を募集します。

▼採用職種と採用予定人数
行政職(一般事務) 若干名
幼児保育教育職 若干名

▼受験資格

○行政職 昭和57年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた人(学歴は問いません)
○幼児保育教育職 昭和57年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人。幼稚園教諭と保育士の両方の資格を持つ
つから平成24年3月までに両方の資格を取得する見込みの人

▼試験の方法

一次試験



あなたの新しい力を待っています

○期日 7月24日(日)

○場所 福島大学 (福島市金谷川1番地)

○内容

行政職 大学卒程度の教養試験と行政の専門試験
幼児保育教育職 短大卒程度の教養試験と幼稚園教諭の専門試験

二次試験

一次試験合格者に、個別面接や小論文などによる試験を実施します。

▼受験申込用紙の交付

申込用紙は、役場総務課行政管理業務で交付します。郵送を希望する人は、封筒の表に「行政職採用試験申込用紙請求」または「幼児保育教育職採用試験申込用紙請求」と朱書きし、80円分の切手を貼った、あて先明記の返信用封筒を必ず同封してください。

○あて先 〒969-3123

猪苗代町字城南100

猪苗代町役場 総務課

▼受験申込受付期間

5月26日(木)から6月24日(金)までに総務課に提出してください。

※郵送の場合は、6月22日(水)の消印までを有効とします。

▼申し込み・問い合わせ先

総務課行政管理業務

☎(62) 2111

・第49号「分任出納員(の告示)」

(総務課行政管理業務)

・第50号「分任出納員(の告示)」

(総務課行政管理業務)

・第51号「分任出納員(の告示)」

(総務課行政管理業務)

・第52号「国民健康保険被保険者証無効告示」

(町民生活課国保年金業務)

公告

・第10号「平成23年度特定環境保全公共下水道事業受益者負担金の賦課区域公示」

(上下水道課下水道業務)

・第11号「平成23年度下水道区域外流入受益者分担金の賦課区域公示」

(上下水道課下水道業務)

・第12号「農用地利用集積計画

について」

(農業委員会農地業務)

・第13号「固定資産課税台帳に

登録すべき固定資産のすべてを

登録した件(税務課賦課業務)

・第14号「猪苗代町人工透析患

者通院交通費補助事業実施要綱

附則第2項の適用期間」

(保健福祉課社会福祉業務)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧ください。それぞれ担当課にお問い合わせください。

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況 (平成23年3月31日現在)

町村別	年別	平成23年	平成22年	増減	増減率%
猪苗代町	14	27	-13	-48.1	
磐梯町	6	10	-4	-40.0	
裏磐梯	5	1	4	400	
計	25	38	-13	-34.2	

町村別	猪苗代町	磐梯町	裏磐梯
窃盗犯計	13	22	6
空き巣			
金庫破り			
事務所荒らし			
出店荒らし			
倉庫荒らし			
侵入盗その他	1		1
置き引き		1	1
車上ねらい	1	1	1
部品ねらい			
脱衣場ねらい	1	2	
自販機ねらい			
万引き	4	4	
職場ねらい		2	
さい銭盗			
畑荒らし			
スキー・スノーボード盗	7	4	2
非侵入盗その他		8	3
自動車盗			
オートバイ盗			
自転車盗	1		
その他の乗り物盗			
暴行・傷害	1		
詐欺・横領	2		
遺失物等横領	1		
器物損壊	1	1	
その他の刑法犯			1
総計	14	27	6
増減	-13	-4	4

◎県内において空き巣の被害が多発しています。
○外出の際には確実にカギを掛けて空き巣被害に遭わないように注意しましょう。

2 交通事故発生状況

死亡事故	0	0	0	0	0	0
増減	0	0	0	0	0	0
人身事故	28	35	2	4	1	3
増減	-7	-2				-2

◎GW前の締め切り日の都合で、先月号と同じ数字を掲載しています。ご了承ください。

お知らせ

国家公務員Ⅲ種(高卒)採用試験を実施します

人事院では、国家公務員採用Ⅲ種試験(高校卒業程度)を実施します。受け付けは6月21日(火)から6月28日(火)まで(受付最終日の通信日付印有効)で、第1次試験は9月4日に実施します。

申込用紙の請求や受験資格などの詳しい内容については、人事院ホームページまたは下記に問い合わせてください。

人事院東北事務局 第二課
試験係 ☎022(221)2022
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

国家公務員Ⅲ種(税務)採用試験を実施します

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集しています。国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか。

- 受験資格 平成2年4月2日から平成6年4月1日生まれの人
- 受験申込受付期間 6月21日(火)から6月28日(火)まで
- 受験申込書の請求 最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課または人事院東北事務局まで ※受験申込書の配布は、5月9日(月)から始めます。

人事院東北事務局
☎022(221)2022
仙台国税局人事第二課
☎022(263)1111(内線3236)

無料相談

交通事故無料相談、無料弁護士相談会を開催

近年、交通事故の態様も複雑化し、その解決に困っている人も多くはないかと思えます。

(社)日本損害保険協会東北支部では、郡山自動車保険請求相談センターを設置し、自動車損害賠償責任保険や任意自動車保険の請求について、無料で相談を受けています。

法律にかかわる相談については月2回、同センターで無料弁護士相談会を開催し、被害者・加害者の複雑な事案に対応しています。

- 無料相談日(随時) 月曜日から金曜日(祝日を除く) 午前9時から正午まで 午後1時から午後5時まで ☎024(933)4850
- 23年度上半期無料弁護士相談会 日程 5月26日(木)、6月9日(木)、23日(木)、7月7日(木)、21日(木)、8月11日(木)、25日(木)、9月8日(木)、22日(木)

(社)日本損害保険協会東北支部 郡山自動車保険請求相談センター ☎024(933)4850

消 防

6月5日～11日の間は「危険物安全週間」です

「危険物 無事故のゴールは譲れない！」
●ガソリンはポリ容器では保管できません

(ポリ容器は、静電気などにより引火する恐れがありますので、適正な金属容器で保管してください)

●危険物の運搬にはご注意ください (こぼれないように、栓は確実に閉め、倒れないようにしっかりとロープなどで固定してください)

●保管する量は最小限に (一定数量以上を保管するには、消防署に届け出が必要です)

●給油の時はエンジン停止。タバコなどの火気は厳禁

(直接火が触れなくても引火し、火災を起こすことがあります)

●給油の時はエンジン停止。タバコなどの火気は厳禁

●原野、山林でのたき火、火入れをしない。
●タバコの投げ捨ては絶対しない。
消防署 ☎(62)4433

募 集

子どもに関する相談に答える巡回児童相談会

県会津児童相談所では、すべての児童や生徒(0歳～18歳未満)のあらゆる問題について、保護者などに必要な助言をする巡回児童相談会を開催します。

会津児童相談所の職員(児童福祉司、心理判定員、家庭相談員)が無料で相談に応じます。

本町の開催は下記のとおりです。相談を希望する人は、町保健福祉課まで連絡してください(要予約)。

●実施日

6月7日(火)、11月9日(水)
※時刻は予約後に連絡します。

- 実施場所 学びいな
- 相談内容 0歳から18歳未満の児童の福祉についてのあらゆる相談
- 町保健福祉課 ☎(62)2115

夏休み中の野外活動で子どもの生きる力養う

文部科学省所管の財団法人国際青少年研修協会では、夏休み期間中、小学校4年生から中学生までを対象に野外活動体験を実施します。

この事業は、日本の青少年と在日外国人青少年が、キャンプや富士登山などの野外活動を通してお互いの理解や交流を深め、仲間と協力することの大切さや楽しさを学ぶことを目的に実施するものです。

●期間 8月3日(水)から8月7日(日)までの5日間

●内容 富士登山、野外炊飯、本栖フレンドパーク、テント設営など

●説明会 6月18日(土) 福島テルサ 午後3時30分開始 ☎024(521)1500

●申込締切日 7月7日(木) ※詳しくは下記まで問い合わせください。

国際財団法人国際青少年研修協会 ☎03(6459)4661
✉info@kskk.or.jp

●広報4月号(No.606)の記事中に誤りがありました。深くお詫びして訂正いたします。

○6ページ3段目 (誤)水分もこまめに取るようにして下さい

(正)水分もこまめに取るようにして下さい

○8ページ2段目 (誤)被曝する言われている

(正)被曝すると言われている

○20ページ 職員の人事 (誤)関谷香代 (正)関矢香代 (誤)遠藤千恵 (正)遠藤千絵

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に申し出ください。

善意をありがとう

○野口英世博士のふるさと猪苗代 応援寄付金として 浅野 功さん(横浜市在住) 30,000円

○野口英世博士のふるさと猪苗代 応援寄付金として千葉県野田市と大阪府八尾市在住の人から匿名の寄付がありました 50,000円、10,000円

町の人口

23年4月1日現在の現住人口

人口 15,703人

世帯数 4,922戸

出生 7人 転入 50人

死亡 20人 転出 66人

今月の納期 ●軽自動車税 全期分 (納期限5月31日) ●上下水道使用料 4・5月分

編集後記

▼ニュースで被災地で支援活動に当たった自衛隊員の姿を紹介していました。被災者のために早朝からお風呂を準備し、暖かい炊き出しを提供していた彼ら。その食事は、前日に支給された冷めたレトルト食品です。お風呂にはもちろん入りません。

▼また聞きですが、本町出身の自衛隊員の話も聞きました。1週間近い勤務でお風呂は無し。1日半の休みで帰郷すると、ひたすら体を休め、お風呂に入り、頭を丸めて被災地に戻っていったそうです。その献身的な姿に、ただただ頭が下がります。

▼取材で避難生活を送る皆さんに話を聞かせてもらいました。「猪苗代に来て、1カ月ぶりに笑うことができた」という話を聞き、ほっとした半面「少しくらい(放射線)を浴びてもかまわないから、早く帰りたい」と話す横顔を見ると、胸が痛みます。一刻も早い事態の収束を願わずにはいられません。(大坂)

